

【税制委員会とは】租税等に関連する各種の講演会や勉強会の開催をはじめ、政府、国会に対する要望活動等、会員のための活動を行っています。特に、毎年行われる税制改正要望に関するアンケート調査とその取りまとめについて検討会を開催し、荻窪法人会の会員企業の皆様の要望を実現できるように努めております。税制改正要望について、ご意見・ご要望がありましたら、税制委員会までご連絡をいただきたいと思います。

平成23年度 荻窪法人会 税制委員会 税制特別講演会

紙と印刷 そしてお札のはなし

講師：
 東京大学特任教授 元国立印刷局理事
木村 実氏

平成23年10月19日（水）、荻窪タウンセブン8階大会議室にて、税制特別講演会を開催しました。この講演会のようすをご紹介します。

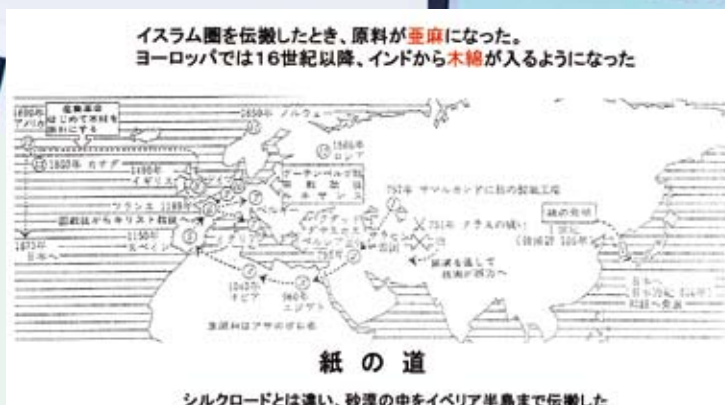
税制委員会 副委員長 小林誉光



5千円札に採用されている偽造防止技術



マイクロ文字



紙の道



紙幣の長さは約200cm

①公権力（法律、強制通用力）、
 「単なる印刷物」である紙が、「紙幣」
 として価値を持つには次のような要
 件が必要です。

素材価値のない紙幣の流通条件

それは、紙の伝わり方の歴史に関
 係しています。（写真：「紙の道」）

紙の歴史と紙幣用紙の違い

日本の紙幣は、「楮、桑、三桤など
 の樹脂類」で作られているのに対し、
 欧米諸国は、「木綿、亜麻」で作られ
 ています。両者の地域間では、製紙
 原料に際立った違いがあるのです。
 「紙幣の原料」が違えば、「使用する
 インク」も違います。これは、日本の
 紙幣が偽造防止の点で有利だと思
 います。

- ② 本物であるという保証（偽造対策）
- ③ 価値の保証（兌換券、銀行券）

従来からの紙幣偽造対策

日本の紙幣は、他の諸外国と比べても、偽造紙幣が作りにくいものになっています。

それは、日本の紙幣に次のような特徴があるからです。

- ① 独特の手触り（木綿以外の非木材繊維の使用）
- ② 独自のすき入れ技術、
- ③ 用紙特性に適合した凹版インキ（独自開発）
- ④ 用紙の薄い中間色（たまご色）

偽造紙幣の増加の理由

2000年頃から世界中で偽造紙幣が多く出回り始めます。

これは、高性能なインクジェットプリンターが廉価になり、一般家庭に普及した時期と重なります。世界の基軸通貨にもなっている「ドル紙幣」ですが、偽造紙幣の登場もそれに比例して多くのものが登場します。

なかでも、「スーパーク」は、「本

物よりも優れた偽物」として、その偽札の作りは世界を驚かせました。ドイツ人は、アメリカのドル紙幣を、「バンクノート」ではなく、単なる「印刷物」だと揶揄したほどです。

新たな偽造防止技術と一万円

印刷技術の発展に伴い、日本の紙幣はさらなる進化が求められました。現在の日本の紙幣には、次のような最新技術が使われています。

- ① マイクロ文字
- ② 潜像模様
- ③ 潜像パール模様
- ④ ホログラム
- ⑤ 特殊発光インキ

当日は「一万円」を持参していただき、ご自身の一万円をご確認いただきながら、最新技術を確認しました。なかでも、特殊発光インキの技術は、ブラックライトを回してもらい、発光することを確認していただきました。

【おわりに】

この講演を聞いて、普段なにげなく使っている紙幣は、多くの最新技術の結晶だということがよくわかりました。

私たちが毎日利用する紙幣。この紙幣への信頼は、国への信頼だと思えます。これからも世界から信頼される紙幣を作り続けてほしいと思いました。



上)ブラックライトで特殊発光インキの発光を確認
下) 持参した1万円で印刷の最新技術を確認する参加者



プロジェクターで印刷技術を説明する木村氏